

現場で悩ましい問題点が設例でわかる

IFRS導入で システム対応はこうする

Part 1 業務・システムレベルのすり合わせが大事
IFRS導入の目的と適用範囲

Part 2 4段階で行われる
IFRS導入プロジェクト実施の手順

Part 3 調整仕訳は3パターン
IFRSと会計システムとの関係

Part 4 システム要件整理表の作成を
業務システムへのIFRS調整仕訳組込みのポイント

Part 5 会計処理の変更も検討を
業務システムの複数帳簿機能のポイント

Part 6 現状のフローを整理して他部門も巻き込む
IFRS導入の問題点と対応策

西 明彦(公認会計士)

IFRSの導入を検討するにあたり、どのようにシステムにIFRSを組み込むかは、システムの状況やIFRS導入の目的などが各社各様であることもあり、非常に難しい問題である。

そこで、本特集では、具体的な設例をもとに、プロジェクトの進め方から、業務システムに調整仕訳を行う場合のポイントなどを解説してもらった。自社のベストプラクティスを模索するための参考にさせていただければ幸いである。